

認知症支援連携に  
あなたの声を

## 弘前市認知症初期集中支援チーム 検討委員会の委員を募集

「認知症初期集中支援チーム」は認知症の人などへの早期診断・早期対応に向けた支援を行っています。このチームの活動が医療、保健、福祉等に携わる関係機関の連携のもと推進されるよう、支援チームの活動について意見を述べる検討委員会の委員を募集します。

▼**応募資格** 満40歳以上の市民（国・地方公共団体の議員・職員、現在市の附属機関の委員になっている人を除く）で、年2回程度、主に平日開催予定の会議に出席できる人

▼**募集人員** 2人程度

▼**応募期限** 5月21日（火・必着）

※持参の場合は5月7日（火）以降の平日、午前8時30分～午後5時に受け付け。

▼**任期** 委嘱の日から2年間

▼**報酬など** 1回の会議出席につき、市の規定に基づく報酬および交通費を支給

▼**応募方法** 次の事項を記入した応募用紙を、郵送、持参、ファクスまたはEメールで提出してく

ださい（添付ファイルの容量は1メガバイト程度）。

①住所・氏名（ふりがな）・生年月日・性別・電話番号・職業・勤務先／②「志望動機、抱負、認知症の人と家族を支えるために市政に期待すること」をテーマにした作文（800字以内）

※応募用紙の様式は自由ですが、参考様式を市のホームページに掲載しているほか、介護福祉課でも配布しています。なお、応募用紙は返却しません。

▼**選考・発表** 応募書類の記載事項を審査の上、選考し、結果は応募者全員に書面で通知します。

※委員に選任された人は委員名簿に登録され、市ホームページで公開されます。

■**問い合わせ・提出先** 介護福祉課自立・包括支援係（〒036-8551、上白銀町1の1、市役所1階、☎40-7072、ファクス38-3101、Eメールkaigo@city.hirosaki.lg.jp）

協働のまちづくりに  
参加しませんか

## 弘前市協働によるまちづくり推進審議会の委員を募集

弘前市協働によるまちづくり推進審議会は、弘前市協働によるまちづくり基本条例に規定された市の附属機関です。条例の実行性を確保するため、条例と市の取り組みの整合性に関する事項などについて、審議します。

▼**応募資格** 市内に在住または、通勤・通学している満20歳以上の人（市議会議員、市職員（退職者含む）および市の他の附属機関の委員を除く）で、年5回程度、主に平日の夜間に開催予定の会議に出席できる人

▼**募集人員** 2人程度

▼**応募期限** 5月31日（金・必着）

▼**任期** 委嘱の日から3年間

▼**報酬など** 1回の会議出席につき、報酬1万円と交通費を支給

▼**応募方法** 次の事項を記入した応募用紙を、郵送、持参またはEメールで提出してください。

①住所・氏名（ふりがな）・性別・生年月日・職業・電話番号／②「私が考える弘前市の協働のまちづ

くり」をテーマにした作文（800字程度）

※応募用紙の様式は自由ですが、参考様式を市のホームページに掲載しているほか、市民協働課でも配布しています。なお、応募用紙は返却しません。

▼**選考・発表** 応募書類の記載事項を審査の上、選考し、結果は応募者全員に書面で通知します。※委員に選任された人は委員名簿に登録され、市ホームページで公開されます。

▼**その他** 弘前市協働によるまちづくり基本条例の詳細などは、市ホームページをご覧ください。

■**問い合わせ・提出先** 市民協働課協働推進係（〒036-8551、上白銀町1の1、市役所2階、☎40-7108、Eメールshiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp）



市民の皆さんから  
公募します

## 弘前市学校給食審議会の委員を募集



▼**応募資格** 次の①～④のすべてに該当する人

①市内に居住する20歳以上の人で、市のほかの附属機関の委員に選任されていない人

②国・地方公共団体の議員・職員（退職者を含む）でない人

③任期中2回程度、平日の日中に開催される会議に出席できる人

④過去に弘前市学校給食審議会または弘前市学校給食懇談会の公募委員に選任されたことのない人

▼**募集人員** 3人程度

▼**募集期間** 5月1日（水・祝）～15日（水・当日消印有効）

▼**謝礼など** 1回の会議出席につき、謝礼1万円と交通費を支給

▼**委員の任期** 委嘱の日から翌年3月31日まで

▼**応募方法** 「弘前市学校給食審議会委員応募申

込書」に必要事項を記入の上、郵送、持参、ファクスまたはEメールで提出を。なお、詳しい資料「弘前市学校給食審議会公募委員案内書」および「応募申込書」は、学務健康課に備え付けているほか、市ホームページからダウンロードできます。

※提出された応募申込書は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

▼**選考方法** 応募書類の記載事項を審査の上、選考し、結果は応募者全員に書面で通知します。※委員に選任された人は委員名簿に登録され、市ホームページで公開されます。

■**問い合わせ・提出先** 学務健康課（〒036-1393、賀田1丁目1の1、岩木庁舎3階、☎82-1835、ファクス82-5899、Eメールgakumukenko@city.hirosaki.lg.jp）

## 地域おこし協力隊の 活動報告 File.2

地域活性化のために日々活動している「地域おこし協力隊」の隊員の活動を毎月紹介します。

■**問い合わせ先** 企画課（☎40-0632）

私は、念願の子どもを授かった時に30年暮らした神奈川県川崎市からの移住を決断しました。孫の代まで活気あふれる地で暮らしたいと思って、ちょうど弘前市で協力隊の募集があり、手を挙げました。

地域おこし協力隊として、ねぶた、お山参詣、ろうそく祭りなどの伝統行事に参加し手伝う一方、得意のスポーツでこの地を賑やかにしようとしています。これまでは、台湾の高校生や弘前大学の留学生などのインバウンド向けスキー体験教室や高齢者向けアルペントレーニングを地元の仲間と一緒に企画・実施してきました。今冬からは、ロマンピアスキークラブ主催のナイタースキー



教室や相馬小学校のスキー学習でインストラクターを務め、地域の子どもたちに体を動か

私が平成29年に活動を開始して約2年。これまでを振り返りながら、地域づくりへの思いをつづります。

相馬地区地域おこし協力隊

北野教正さん  
（北海道帯広市出身）



すことの楽しさを伝えています。今春からは、雪のない季節の「相馬のいいところ」を自転車でガイドしたいと思っています。りんご畑の向こうに見える岩木山など、この地ならではの自然の中をゆったりサイクリングしながら、地元の人とふれあい、この地ならではの物をいただくというようなおもてなしの活動を続けたいなど。

弘前は人が多過ぎず少なすぎず、自然が暮らしの近くにある。心温かい人や地元へ愛着のある人も多い。私はそんな弘前が大好きです！

移住してきて2年。まだまだ津軽弁は勉強中です。あれっと思った時は聞き取れていない可能性があるので、優しく手ほどきをお願いします。

